



立志 鍛錬 協調

令和元年7月10日号

立三中

立川市立立川第三中学校
Tachikawa Daisan J.H. School

だより

思考力・表現力を伸ばす

校長 山口真一

今学期も残り2週間となり、これから38日間の夏休みを迎えます。本校はこれまでもネットワーク型の教育活動を推進してきましたが、今年度からはコミュニティスクールとして地域や保護者の皆様とより連携した学校運営をしてみたいです。

1学期を振り返ると、1年生は人間関係を広げながら中学校の生活に積極的に取り組みました。校外学習や体育大会では集団行動を意識した行動で成果を出し、安心してみられるところまで成長してきました。2年生は中堅学年としての自覚が高まり、あいさつや授業態度、時間を守ることなどお手本となる行動が随所に見られました。2学期からは委員会や部活動の中心となりますが、さらに活躍してくれることが期待できます。3年生は最上級生として、数々の場面で1、2年生をリードしてくれました。特に体育大会では、競技の面だけでなく委員会・係活動や応援などにも全力で取り組み、大いに大会を盛り上げてくれました。三中のよき伝統をしっかりと受け継いでいます。

こうした日々の活動を通して、生活や学習面での基礎・基本をしっかりと身に付けていきます。これを土台として社会で活躍するために、思考力や表現力をどれだけ伸ばしていくかがこれからの課題となります。21世紀の社会を生き抜くために必要な力は今後大きく変わります。令和2年度から大学入試改革が始まり、知識・技能を活用する総合的な力が求められます。令和3年度には、都内全中学校で英語のスピーキングテストを実施し、この結果を都立入試に活用する予定となっています。思考力や表現力は短期間に身に付くものではありません。自分の力を引き出す様々な取組に挑戦することが大切です。

本校では、思考力や表現力を高めるために指導の工夫をし、授業改善を各教科で図っています。授業の中で、スピーチやプレゼンテーション、小論文などに取り組み、成果を出しています。また夏休みには、この力を伸ばす課題や場面がいろいろと用意されています。主張作文や人権、税の作文などの課題、地域の行事やボランティア活動など三中校区ならではの取組です。こうした機会を利用して多くの方と触れあい、自分の考えを深め、豊かな表現力を身に付けてほしいと思います。2学期の始業式には全員が元気に登校し、今学期以上に活躍してくれることを願っています。